

10月10日は「目の愛護デー」



良好な視野 保つために

10月10日は「目の愛護デー」。学術研究活動と地域の眼科医療の充実に取り組みできた一般社団法人大阪府眼科医会は、「目の愛護デー」に合わせて啓発イベント「目のすべて展」を10月13日・14日の2日間、大阪市北区のリーゼプラザで実施します。イベントに先立ち、当日講演する眼科専門医に、注目ポイントなどを聞きました。

「目のすべて展」

入場無料・事前申込み不要

10月13日(日)、14日(月・祝)の2日間、「目のすべて展」がリーゼプラザ小ホールで開催されます。「白内障」や「緑内障」などについての特別講演のほか、最新治療法や眼鏡の選び方、上手な目薬の差し方などが紹介されます。専門医による目の健康相談(両日とも先着150人)も行います。

※台風などの天候不良の場合は中止となる場合があります。お問い合わせは 大阪府眼科医会 06-6762-3201(平日午前9時～午後5時) <http://osaka-ganka.jp/>

主催：大阪府眼科医会
後援：大阪府、大阪市、大阪府医師会、大阪アイバンク、日本ライトハウス、読売光と愛の事業団大阪支部、読売新聞大阪本社

会場：リーゼタワー 7階
「リーゼプラザ小ホール」
(大阪市北区梅田2の4の9)
日時：10月13日(日)午前11時開場
10月14日(月・祝)午前10時開場



<講演スケジュール>

10月13日(日)	午前11時開場
・「眼鏡調整の大切さ」(眼鏡組合)	11:20～11:40
・「盲導犬の話」(日本ライトハウス)	11:40～12:00
・「アイバンクの話」(大阪アイバンク)	12:00～12:20
・特別講演1「白内障」	12:30～13:30
【講師】近畿大学 野本裕貴先生	
・「目に近づくクイズ」(大阪府眼科医会)	13:30～14:00
・特別講演2「緑内障」	14:00～15:00
【講師】大阪市立大学 上野洋祐先生	
・「視野障害と自動車運転」(湖崎淳先生)	15:00～15:20
・「変視症-ゆがんで見えませんか?-(坂口裕和先生)	15:20～15:40
・「もっと知ってほしいコンタクトレンズ」(宮本裕子先生)	15:40～16:00
10月14日(月・祝)	午前10時開場
・「I P S細胞利用はここまで進んだか?」(山田晴彦先生)	10:20～10:50
・特別講演1「生活習慣病と目」	11:00～12:00
【講師】大阪大学 原千佳子先生	
・「感謝状贈呈」(大阪府眼科医会)	12:00～12:20
・特別講演2「落語・講演」	12:20～12:30
【講師】桂文太さん	
・特別講演3「緑内障」	13:30～14:30
【講師】関西医科大学 嶋千絵子先生	
・「目に関するクイズ」(大阪府眼科医会)	14:30～15:00
・特別講演4「白内障」	15:00～16:00
【講師】大阪医科大学 佐藤孝樹先生	
・「目は上手に磨いていますか?」(上田淳子先生)	16:00～16:20

目玉健康相談(受付時間は13日11:00～15:00、14日10:00～15:00)
いすれも先着150人まで
▷お楽しみ抽選会▷児童・生徒絵画展「メガネと一緒に出かけよう!」
▷眼科啓発パネル展示▷大阪アイバンクコーナー
▷日本ライトハウスコーナー▷眼鏡組合コーナー

大阪市立大学
上野 洋祐氏



今回の「目のすべて展」で私が講演させていただくのは、緑内障についてです。従来のデータから、緑内障でかかっている人は40歳以上の方で20人に1人とわわれています。また、日本人の中途失明原因の1位を占めており、早期発見・早期治療開始により視機能を維持することが非常に重要となっています。これら緑内障に対して、その病型・検査・治療法などについて、なるべく分かりやすく幅広いまに周知できるようにお話していきます。

大切な目を病気に守るために、ぜひお来場し、日常生活に生かしていただければと思います。

緑内障 早期治療が重要

近畿大学
野本 裕貴氏



多くの方において「見える」「こ生活に支障を及ぼさず、目病気の発生を未然に防ぎたい」という病気のだけだけでなく、加齢に伴う変化でも「見える」機能が低下し、損なわれていくことがあります。その代

白内障 症状と手術加療

会長あいさつ
一般社団法人
大阪府眼科医会会長
佐堀 彰彦氏
正しい知識
身に付けて



大阪府眼科医会には1893年の創立以来、126年の歴史と伝統を持つ日本最古の眼科医会です。当会には大阪府内で眼科診療を行っている眼科開業医・病院勤務医のほぼ全員が加入しており、会員数は現在約1350人です。電話無料相談や市民公開講座など1年を通じて府民の目の健康・福祉の向上に取り組んでいる中で、特に力を入れているのが「目のすべて展」です。できるだけ多くの方に「目の健康」について関心を持っていただき、楽しみながら正しい知識を身に付けていただきたいと思っています。ぜひお気軽にお越しください。

大阪医科大学
佐藤 孝樹氏



以前に比べて白内障手術が容易に行われるようになり、術後の見え方に対する高い期待を持つ方が多くなってきているように感じます。それに比べて、白内障の種類も多くなってきています。

白内障手術 正しく理解

関西医科大学
嶋 千絵子氏



緑内障とは視野が狭くなる病気です。かなり末期にならないと自覚症状があらわれません。一度欠けた視野は元には戻らず、治療は視野の悪化を予防するだけとなります。そのため早期発見が重要で、自覚

自覚症状なくても検診

大阪大学
原 千佳子氏



私達の生活に身近な生活習慣病、それ以外にも病気のイメージではないかもしれませんが、その中には目に影響を及ぼす病気が含まれています。糖尿病網膜症はその代表ですが、高血圧や高脂血症が原因となることが多い病気、喫煙が影響するものも、最近ではパソコンやスマートフォンを長時間使用することで起こる、スマホ老眼や眼精疲労、ドライアイなども注目されるようになってきました。これらの疾患を未然に防ぐためには、どんな症状が、そして、予防にはどんなことに取り組むべきなのか、など、少しづつお役に立てるようなお話をしたいと思っています。

糖尿病 目の健康に影響